

平成29年9月11日（月）

○議長（岡 弘悟君）順番5、12番 堀内君。

〔12番（堀内和久君）登壇〕

○12番（堀内和久君）皆さん、こんにちは。

昼をまたいで田中議員の後なので、一般質問は初日が一番いいですね、やっぱり。

今回、一般質問をするにあたって、いろいろ、毎度のことなんですけども、いろんな担当課職員といろんなことを勉強させていただく中で、やっぱり初心に戻ってといつも思うんですけども、やっぱりちょっと浮足立つとというか、当然、公務員なので人事異動とかでまた違う人とまたいろんなお話をする機会があって、やっぱり人と人はこういう意見の持ち合いで、ちょっと違うんだなといつも思いながら、でも、ゴール地点はちょっとでも税金の無駄遣いなく、市長を筆頭に橋本市がちょっとでも幸せになるように、ちょっとでもよくいくように、きょうの市長の出馬要請等の一般質問なんかを聞いていると、改めて自分もまだまだ一兵卒として、まだこの橋本市に全然貢献できてないななんてちょっと思ったりして、もっともっと汗をかくつもりで、いつもどおり千本ノックを受けるつもりで一般質問をさせていただきます。

それでは、議長のお許しをいただきまして、朗読をもって壇上から質問させていただきます。大きく三つございます。

本市待機児童について。

本市の待機児童はゼロであると、大変ありがたく、子育てに優しいまちとして誇れるものであると感じています。しかし、このデータのものは新学期はじめ時点で線引きされてあると思います。産休などの制度では産前・産後、3カ月から4カ月程度、ネットとかを見てちょっと調べたのできっちりしたこ

とは出てないんですけども、会社によっても違うと思うんですけども、だいたい、子どもが4月から12月ぐらいに生まれたら、待機児童的な感じになるのではないのでしょうか。共働きが多い中で安心して仕事に復帰するというのを切に希望して、現在の状況と市の見解をお伺いいたします。

二つ目でございます。小・中学校の図書室のエアコンについて。

この夏、小・中学校の図書室のまだエアコンが設置されていない学校に設置したと聞いております。ありがたい取り組みだとは思いますが。財政難の中でも、少しでも子どもたちのためという気持ちを感じます。

しかし、部屋の広さに対して容量不足という声を聞きます。例えば、一般家庭においてリビング的な場所、きんきんに冷えた場所の部屋というのは学校教育の中では必要ないと思うんですけども、学校では最低限の熱中症対策とか少しでも学習しやすい快適感を子どもに与えるというのが各学校にあってほしいという願いのもとにあるものだと思います。

さらに、今まで図書室にエアコンが設置されていた学校となかった学校が存在したのはなぜかということ。見解をお伺いいたします。

三つ目、西部小学校体育館管理体制について。

最近、西部小学校体育館で電気系統から煙が出て、照明器具はいまだに安定していないと聞きますが、深く聞くつもりはございません、その後の管理体制をお伺いいたします。

明確なご答弁、どうぞよろしくお伺いいたします。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君の質問項目1、待機児童に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（石橋章弘君）登壇〕

○健康福祉部長（石橋章弘君）本市待機児童について、お答えします。

議員おただしのとおり、本市においては毎年新学期の4月1日時点における待機児童は発生しておりません。待機児童とは、保育所への入所利用資格があるにもかかわらず、保育所等が不足していたり定員に達しているため、入所できずに待っている児童のことと定義されます。ほかに入所可能な保育所などがあるにもかかわらず、第1希望の保育所などに入所するために待機している児童等については、現時点では待機児童のカウントから除かれます。

本市におきましても、この定義による待機児童は新学期の時点では発生していませんが、年度途中においては出産などに伴う新生児の入所申し込みが継続して寄せられています。そのため、現状としましては、主に公設民営のこども園や三石保育園を中心に、保育士の新たな配置などについて指定管理法人にご協力いただき、可能な限り保護者ニーズに対応できるよう、年度途中の受け入れに努めているところです。

しかしながら、例年、夏または秋以降は0歳児をはじめ全ての入所希望者を途中で受け入れることは、定員の都合上、困難な状況です。

議員おただしの、共働き世帯が多い中、安心して仕事に復帰するということについては、受け入れ枠がある限り入所の利用調整を行っていますが、市内全域で定員に達した場合は、入所待機の申請や翌年度の入所申し込み等についてご案内しています。

待機児童問題については、(仮称)学文路こども園と(仮称)山田こども園整備計画を進めることにより、市内の0歳児、1歳児の受

け入れ枠についても増やしてまいりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）健康福祉部長、どうもありがとうございます。ご理解のほどよろしく願いされましたというか、ちゃんと答弁していただいたので、本当に再質問、ちょっと珍しくないかなと思います。ちょっとだけ、せつくなのでちょっと。あまり健康福祉部長と長いことしゃべってないので、ちょっとしゃべりたいと思います。

待機児童の定義の見解は了解しました。わかりました。要は、僕が言いたいのは、誕生日のかげんで途中からでも入れへんのかいなど。産休とか時間に限られとるんで、スペースと保育士が確保できるんやったら、途中から募集かけて入れたってよと、こういうだけの話なんです。

そこらはわかってくれとると思うんで、一点だけお伺いします。定員の部屋と面積のルール等があって、受け入れ可能な園についてはもう早期に保育士の募集をかけてやっているやないか、前向きにやったろやないかというお気持ちというのはおありですか。お願いします。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（石橋章弘君）現時点では、壇上からの答弁の中でも申し上げましたとおり、指定管理法人、いわゆるこども園、それと三石保育園の法人のほうに、保育士の配置替えといたしますか、一定の融通をきかせていただいて、できる範囲で対応していただいているという、できる限り対応していただいて、年度途中に入所を希望される0歳児、1歳児の方々もできるだけ入園していただけるように利用調整をしておるのが現状でござ

います。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）それはわかったんですけども、ほかの私立とか公設とかそういうことを言うとなっちゃうんです。橋本市内の何人に1人の面積、平米というのがある程度ルールが決まっと思うんですけども、そのスペースが可能で、新規で保育士を募集したろうやないかという意味なんですけど、今、ここここに配置替えがどうかと違って、スペースが可能やったら募集かけたら、保育士が1人来てくれたら3人見れるわけでしょう、単純に。それをお伺いしとるんですけど、その前向きな気持ちはあるのかなのか、お願いします。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（石橋章弘君）可能な限り、当然予算もございまして、その範囲内で可能な限り対応していきたいと考えます。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。ちょっとしつこい言い方して悪かったんですけど、本当に子育ての中、お母さんがお産みになってから仕事復帰、3カ月、半年したらせなあかんということで、切実な悩みとして僕も聞いておりますので、同世代としてやっぱり見て見ぬ振りできやんかったんで、ちょっと一般質問をさせてもらいました。どうぞよろしく願いいたします。

一つ目を終わります。

○議長（岡 弘悟君）次に、質問項目2、小・中学校図書室エアコンに対する答弁を求めます。

教育部長。

〔教育部長（曾和信介君）登壇〕

○教育部長（曾和信介君）小・中学校図書室エアコンについてお答えします。

平成29年度当初における小・中学校図書室

エアコンの未設置校は、小学校では紀見、隅田、城山、三石、信太の5校、中学校では隅田、紀見北、高野口の3校、あわせて8校であり、今年度において夏休み前までに小・中学校全校図書室にエアコンを完備できるよう取り組んだところで。

残る12校については昨年度までに設置されており、学校建設時もしくは改修時に市が設置したもの、PTAや個人からの寄附により設置したもの、他施設において不要となったものをPTA予算等で移設したものなどです。

今年度のエアコン設置にあたっては、大容量ではないものの一定の冷房機能を発揮するという見込みのもと、図書室面積にかかわらず同能力機種を選定し、設置しました。

設置完了時に改めて小・中学校校長会、職員による学校訪問等により設置状況等を調査させていただいたところ、昨年度以前の設置校のうち西部小学校が、また、今年度設置校のうち特に図書室面積が広い城山小学校、三石小学校においては、今年のような猛暑では冷房のききが十分とはいいたい状況だと判断をいたしました。

そのため、西部小学校については既存のエアコンを撤去し新規設置、また、城山小学校、三石小学校については同機種をそれぞれ1台追加設置する準備を行っているところです。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。たくさん聞くことがあるので、十二分に時間を残せたかなと思います。

何から行かせてもろたらええですかね。まず、感謝しておるところをまず申し上げるとすると、宙ぶらりんでないにしろ、エアコンつけたらどうよとかそういう話がある中で、市長もマニフェストで一応、財政難の中で一

生懸命やっていたらという、僕は評価はしておるんです。夏休み、長期の休みの間に工事をしておうよと、急ぎのご尽力ということには、教育委員会に本当に感謝申し上げますところであります。

たくさん聞きたいんですけど、まずはじめに、話の切り口として聞くんですけど、はじめに、今回のこのエアコンに対しての予算といのはいくらぐらいあったのか。今後この空調に対する電気代はどこが払うのか。これちょっとお願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）まず、予算についてお答えいたします。

予算につきましては、昨年の予算要求時に1校300万円程度ということでの予算になっております。予算要求する以前には、キュービクル等の改修等、大きな工事等も考えておったところでございますが、予算の縮減に向けて備品によるエアコンの設置をめざしたものでございます。

続いて電気代ですけども、学校に係る需用費の中から支出するものでございます。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。300万円の7校か8校で2,000万円ぐらいという解釈でいいですね。電気代は学校が払うということなんですね。わかりました。

質問を続けていきたいんですけど、答弁であったと思うんですけども、一定の能力というのかな、一定の冷房機能を発揮するという見込みのもと、図書面積にかかわらず同能力の機種を選定したということについてちょっとお伺いしたいんですけど、ここがどうもまず最初の1歩目としてどうしてもちよっとかかるので、わざと意地悪な質問して悪いんですけど、やっぱりここがずれとったら先で

ずれるので、ここをちょっと聞いとかなと、先で堀内、何聞いてんねんとなるので、ちょっとここを言わせてほしいんですけど、これの根拠というのはどこにあるんですか。お願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）冷房の機種につきましては、全て大きさにかかわらず7.1kwということでの機種を選定いたしました。それにつきまして、図書室によりましては扇風機がございましたり遮光用のカーテンとかがございましたりするようなこともありますので、そのようなものも活用して冷房がきくものということの設定で設置したという経緯がございます。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）わかりました。

僕から言わせたら、普通はちょっと僕としたら理解できないです。でも、教育委員会がそれで議論したのであれば、市長部局はこの議論というのは知っていたんでしょうか。どなたかお答えできますでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）もうちょっと的を射て聞きます。

この政策調整会議等で、予算なので、この容量計算でいけるんちゃうとか、常識的に考えて、おい、これ大丈夫かよと指摘した人はいてなかったんですか。ちょっと教えてください。

○議長（岡 弘悟君）総合政策部長。

○総合政策部長（上田力也君）実施計画に係る政策調整会議のことだと思うんですけど、それにおいてそういった議論というのはなかったように記憶しています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。

ちょっと議事録に載せておきたかったのではありません。

これ、僕ら専門的なこと言うたらあれなんで、わかりやすく説明したいんですけども、これ7.1kwというのは恐らく俗に言う、僕ら3馬力という表現するんです。だいたい平米数でいうたら、25㎡ぐらいを3馬力で冷やすのが一般の会社とか事務所、オフィス、ほんであと何人ぐらい入るかという平均的な数字で25㎡3馬力というのが出るんです。ほんだら、25㎡をベースに考えたときに、教育委員会から各小・中学校の図書室の平米数を教育委員会から教えていただいたときに、これ25㎡ぐらい、ちょっと弱く見積もっても構へんよ、50㎡ぐらいあったとしても、的を射た学校というのは、これ存在しないんですね。

もう一つ言うたら、もともとあったところ、恋野とか清水とか学文路、このPTAとかいろいろんな寄附とか、子どもたちのためにちょっとでも快適な環境をつくったろうよというた地域のおいちゃん、おばちゃんたちが、いろんな、PTAの会長筆頭に集まったお金でつけたところ。例えば恋野小学校でいうと、4馬力ついてるんですね。49.5㎡、50㎡のところ、4馬力ついとるという事実を確認して、ほんでこの常識的な、同能力を発揮する機械というふうに、こないつながるんかどうかということと、新しい学校ができてますよね。橋本小学校、あやの台小学校、そこら辺でいうたら、後からつくるんでええもんつくつとると思うんですけども、あそこを見せていただいたら、最新の機種で一つの室外機ユニットで何本か出るやつなんで、何馬力ときっちりできないですけども、十二分に全部同時に運転してもその平米数がある程度常識的に快適になるという解釈の数字のもとでやっていると思います。

もう一つ意地悪な質問になってしまうんで

すけど、自分のとこのリビングが15畳から20畳あって、6畳用のエアコン買う人ってちょっとおかしい話ですよ。ここら辺を踏まえた上で聞きたいんです。全学校の空調の平等性とかというのほどのように精査されたのかなということ平等性の観点で聞きたいんです。何でこれ買うんな、あかんやないかということと言うとんちゃうんです。平等性を見て、3馬力を全部置いていったと言うてますけども、この広さに対しての平等性というのは議論しなかったんですか。お願いします。

○議長（岡 弘悟君） 教育部長。

○教育部長（曾和信介君） 既設のエアコン等につきましての調査をした上での機種設定という判断ではなかったものと考えております。以上です。

○議長（岡 弘悟君） いや、教育部長、平等性の担保はどこにあるかという質問なので、それはちょっと答弁が違うと思います。答弁願います。

教育部長。

○教育部長（曾和信介君） 全て同じような機種といたしますか、どこまで環境を同じにするということの求める内容までということにつきましては議員のおっしゃるとおりかと思いますが、教育委員会としましては、図書室にエアコンをつけて、少しでも環境をよくしたいということにつきましては同じということで考えています。

○議長（岡 弘悟君） 12番 堀内君。

○12番（堀内和久君） もうなってしまったので答えにくいのはわかるので、ほんだら質問を変えます。

財政難の中で、市長がマニフェストでエアコンつけようやないかと言うて、僕はええことやと思いますし、もう世間一般どこを見回しても、3番議員もそのエアコンの重複した質問がかぶっているんで、こっちに全体的な

ことは委ねたいと思うんですけど、この図書室となったときは、たしか僕の記憶が正しかったら、13番議員がちょっと前の一般質問で、せめて市長、特別教室だけでもよというようなお話やって、ほんでこれにきたのか、それとももともとそないなとったんか。でも、市長はエアコンつけたろやないかということで、ちょっとでもみんなの平等性を見て、多分6年生だけ、中学校3年だけとかそういう選択肢もあったかと思うんですけど、一応、特別教室の図書室だけというふうに選択を優先順位の1番に持っていったのであろうなという、僕やったらそうするなということ、イコールになっておるんですけども、広さが違うし、何階にあるか、大方3階にあると思うんですけど、西日とか南の日とか日当たりとか、そこまで細かいことは言わないですけど、僕がもし自分で購入するんやったら、同じ買うんやったら、一回りか二回りか大きいのをつけて、東日本大震災以降、節電とか原発がとまってるとか計画停電とか、僕は議員になった1期にそういう一般質問をしたのをすごく顕明に覚えておるんです。いまだに自分自身、一回り二回り大きいのをお金ない中で使うて、27度に設定して節電に努めて、電気代浮いたわとちょっと喜んだ自分がおるんです。

これ市民の税金で払っていくのであれば、ランニングコストというのはやっぱり考えなくてはいけないのではないかなと。買うてしまったものはもう結構です。それでいいです。それはまた後で市長部局とまた議論して、反省を踏まえて20年、30年に1回買い替えるやつをしくじったという認識を持ってくれたら僕はそれでいいんです。何か間違ったらまた言うてください。

でも、そんな中で節電して、快適に、きんきんに冷やせと言うてないでしょう。快適な

温度というたら熱中症対策でいうたら27、28、29度ぐらいですわ。30度超えれへんだら、子どもはもう体温が熱いので、ちょっと涼しかったらそれでいいと思うんです。そんな、家ではよう冷えたところで勉強しとる子も、塾に行ったらすごい冷房きいてますし、それはそれでいいのかもしれないけども、その考え方の過程についてちょっと悔しいというか、お金がないと言うとって、ほんで2,000万円やっつについて、こういうことが安物買いの銭失いの橋本市みたいな感じになっとんちゃうんかな。

ほんで平米数の話に戻りますけど、25㎡のやつを、今回でいうたら今、具体的に三石、城山と出たのであえて言わせてもらおうんですけども、165㎡もある、天井もちょっと高いんです、学校というたら。そこに25㎡をつけるというのが、その感覚がおかしくないですかと言うとるだけなんです。

つけてしまったことはもうまた追加工事すると答弁書いてあったので、もう好いたようにしていただいたらええんやけども、僕、一番問題なのは、城山と三石だけがちょっと冷えが悪いさかいにどうのという話に今なっていますけど、全部に1回アンケートでもとってみて、きいてますかということだけ確認しといたらんと、25㎡で境原が124㎡、柱本が63㎡、このばらばらのところ、きいとるところときいてないところ、地域によって高さも違うので、そこら辺をちゃんと、平等性の観点で見とあげないとだめだと思っんですけども、よかったら教育長、いかがですか。ちょっと教えてください。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）私自身、きくかきかんかというのは、設置するまで状況的に把握はできていませんでした。そんな中で全ての学校を私、回らせていただいて、エアコン設

置状態でどういう状態かを自分なりに体感させていただいたり、また、ききが悪いというお話のあった学校につきましては、温度計も持ってはからせていただきました。

各学校とも非常に喜んでいただいています。場当たりのではないかという議員のご指摘でございますけども、私自身、各学校の職員、それから図書ボランティアの方々から、よくきいていますというお話を受けて、今、実はほっとしているところです。全ての学校を回っております。

それと、同様に、設置済みの学校につきましても回らせていただきました。かなり心配はしてございましたけども、私なりに非常によくきいているなというふうな判断で帰らせていただいています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。

教育長、設置済みのところがきいているのは保護者らが平米はかって、まちの電気屋に必要なに応じた平米数と容量でいっとるんできいとるのはこれ当たり前なんですわ。

今回設置のところで、その図書委員さんとか子ども、保護者、先生が納得していただいたんやったら、もう僕それで結構なんです。ただ、申し上げたいことが、そのランニングコストです。例えようがないんですけども、18度設定のハイパワーでばんばんやったら、そら冷たい空気が出てきますよ。ほんで、図書のカウンターのところによく室内機があるので、そこら辺だけ風を受けとったら体感的に冷たくなるのは当然やし、当然ハイパワーでやとるんですから、27度、28度設定の弱の自動でいっとるわけじゃないですか。

自動でいったら、その広さやったら自動運転やったら必然的に馬力が上がってくるので、そういうことを言いたいんです。これがやっぱりランニングコストというのを考えたら、

僕はこれ保証きくんかよとメーカーに聞いたんです。これメーカーは普通の常識的な運転じゃなかったら、これは保証、メーカー保証で1年か2年ついてますよね。技術屋さんによってはメンテナンスに来てくれたり3年、4年見てくれるとしますやんか。そしたら、メーカーはこんな運転の仕方しとったら保証できませんと書面で来とるんです。

25㎡に対して同等の普通の常識的に運転した場合は、年間のランニングコストというのは、きっちりはないんですけど一つの軸として6万7,914円というのが出とるんです。これがどこなのかというのは別として、これが常識的な数字やとしたら、例えば、80㎡に同じ馬力数のやつをつけたときの電気代、これ11万3,305円、平均でかかるんです。もうこれだけでもう4万円ぐらい差が出とるんです。

これが何校あるんですかということと、3カ月ぐらいやと思うんですけども、それと、何年あったら何台買えると思いますかということを僕は一番、財政難の中でせっかく市長部局がつけてくれた要求どおりに来たお金に対して、これやったらもうあと一個、音楽教室と特別室とか3台ぐらいつけたんと違うんですか、この3馬力の感覚でいうたら。

予算も余ってるんですよ。追加工事を予測して余らせたんと違いますよね。ちょっとでも橋本市財政健全化のためにお金ちょっとでも下げたろうという気持ちでいったんであろうとは思いますが、何かここら辺がしんどい。

今、教育長、不意に答弁を振ったので、ちょっと急いで言うたんかもわからへんけど、僕が個人的にちょっと今思ったのが、各学校を丁寧に回っていただいて、温度計を持ってこうやってはかってくれたというけど、そんな教育長の仕事と違いますやん。本来トップでおって、いろんなことを相談に来る、決

裁打つとかそういうのが、外へ出ていくことも大事やと思うけども、こんな平米数の分が合うとったら、行く必要ないですやん。ほんで壊れとったら、おまえのこの責任やというて工事業者に言うたら問題ないですやん。きいって当たり前のものでしょ、機械というのは。そこら辺が僕は、財政健全化に向けてちょっとおかしい、何かおかしいんちゃうかなと思うんです。

それは教育長が来てくれたら、それは校長先生とか学校の先生はそんなもん、きけへんぞなんて言えれんでしょう、はっきり言うて。そこが僕はちょっとお金の感覚が違うのかなと思うんです。

質問になってないので、この辺でいいんですけども、やっぱり物差しに応じたものをつくっていったら、せっかく、お金足らんでもうちょっと補正してくれよ、市長と、こういくぐらいになってほしいなと思いますし、一番悲しいのは、3馬力の工事代も10馬力の工事代も、工事1回のお金というのはほとんど一緒なんです。

次に進ませてもらうんですけども、市長の施策、マニフェストがあった上での図書室のエアコンだけでもということなので、どうしても腑に落ちんことがもう一個あります。これは、家庭用電力の単相であるということと、何で動力の単相をキュービクルから引いとけへんだんなど。今回は市長のこの一般質問でさっきわかったことであって、ひょっとしたら今年中にしたかもしれない。

職員の皆さんやったらわかっと思うんやけども、今回、3番議員の一般質問と関連してくるので、ここら辺ちょっとだけ教えてほしいんですけど、なぜ単相にしたのかということをお伺いしたいんです。答えていただけますか。

○議長（岡 弘悟君） 教育部長。

○教育部長（曾和信介君） 先ほども若干触れさせていただきましたが、予算の要求時に工事をするか備品でいくかというようなことの論議があったということでございます。その中で、本来でしたらキュービクルから引いて動力系の三相の200Vというのが普通かなと思うんですけども、備品対応でいけるということで、キュービクルから引かず、各階にある配電盤のほうから引けるものと。その中の最大のものということでの備品で、今回の機種になっております。そういう関係から、単相の200Vというふうになったということでございます。

以上です。

○議長（岡 弘悟君） 12番 堀内君。

○12番（堀内和久君） 説明はわかりました。

でも、僕は選択は間違いやと思います。今後、市長が次2期目、3期目、無事迎えられる、やり残したこと何よと、エアコンときょうは言うたじゃないですか。ほんだらいつかはつけてあげたいという気持ちを持つと人ということになりますよね。ほんだらその人の意見をこっちへつなげたらと思ったら、キュービクルで引いとくべきか、単相でいくんやったら違う工事内容をとるか、引き込みの線を変えるか、僕もそこまで技術的なことはわかれへんけど、ただ、やっぱりこの広さにこれぐらい要るであろうというのは、落ちてくる水とコップの受け皿が同じじゃなかったら腹は満タンになれへんということです、言うたら。そこらは今後、3番議員にちょっと任せておくので、ここらの整合性はきっちりやってほしいと思います。

それは市長のマニフェストとのあれなので、僕は今回の特別教室、図書室だけの一般質問ですので、ちょっと次に移らせてもらうんですけども、もう一つの平等性の観点をちょっとつくらせていただきまして、そこからお伺



いするんですけども、もともと図書室にエアコンがあったところというのは、いろんな寄附でというのはさっきの答弁のとおりなんですけども、もう一つの平等性というのは、もともとついてたところは、ほんならこの予算を措置されてないやないかと。

例えば、恋野とか清水とか学文路とか現状寄附でついているところは平等性の枠に入れたときに、そこにも同じ3馬力のやつもしくは同等のやつ、例えば隣の特別教室とかにつけたらなあかんと思うんやけど、お金の平等性というのはそういうことやと思うんですけど、その見解について、いかがですか。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）お答えします。

こういうことというのはかつてストーブの時代にあったと認識しています。かなり昔のことです。市内でストーブが全部入ったときに、もう既にストーブが入っていた学校については優遇措置として何らかの措置をしたと、こういうことがありました。もうこれは十数年前だと、私は把握しています。

今回につきまして、私自身も昨年エアコンを設置したいと申し出てきた学校がございました。エアコンが1台余っているので設置したいので、工事費をお願いできますかと。実はそのときに、来年ひょっとして図書室にエアコンがつくかもわかりませんよと。それでもいいですかという話をさせていただきました。そのとき校長先生は、それでも結構ですと。他の校長先生につきまして、私自身、8校、西部を入れますので8校について、12校についてはもう既についていたとしても、何らかの特別な措置をしてほしいと言っている校長先生はいないと、私自身は把握しております。

つまり、橋本市内の学校が同じ環境のもとで学習していくことに何ら違和感を覚えてい

ないという。というか、私自身は先生方がスクラムを組んで橋本市の教育を一緒やと考えてくれていると、そのように把握しています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）教育長の見解はようわかりました。ただ、僕は地域として、たまたま恋野、清水、学文路、自分の住んでおるエリアに近いから言うところだけなんかかもしれませんけど、ほかにもついている学校のほうはまた聞いてこようと思うんですけど、ただ、僕が聞くのと教育委員会が聞くの、なかなか答えが違いますよね。言えへん部分ってあると思うんです。

だからこそ、教育長、そんな温度計持っていくんと違くて、こっちにつけたけどこっちも欲しいかと教育長が一言言うたったら、うちも欲しいですと言うに決まるとるじゃないですか。お金余っとるんやから。これも言うたら、2,000万円使い切っとってないので、ほんでもうこれほとんど使い切って追加工事の分もないので済まんかったなという状態やったら、今ついとるところは我慢してくれよと、それをもって平等性と、それは言うところはようわかるんやけど、これ今、きょう議場で言うたんで、これ半分近く余っとるんと違うんですか。こんな3馬力のをつけたということは。工事費は一緒やけども、大きいのも小さいのも。

だから、余っとるお金があるんやったら、僕からの今回の一般質問の要望なんですけども、要望というかお願いというか、これつけたってほしいんです、はっきり言うて。地域のご意思でやったものと市の予算とは僕は違うと考えるんです。そこを教育委員会に理解してもらて、この予算つけてよと市長部局にこの予算をもう一回、再度使わせてくれ、追加工事プラス、もともと図書室にあったところに、あとみんなと同じ3馬力ずつ。そやし

当然、新しい学校のあやの台も橋本小学校も同じように平等に予算措置をしたってくれるんやったら、この話の僕の中の心の整合性というのは納得いくし、今後、市長がまた再選されてもう一回エアコンの予算できた、財政健全化5カ年計画、5年できちり健全化したときに、6年目、7年目で、よっしゃ、エアコン次いこかとなったときに、全てがプラスに平等に働く思うんです。そこら辺、市長部局はつけたるつけたれへんは別として、教育委員会としてこの平等性の僕の言うところの要望の理解というのはしていただけるんでしょうか。お願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）一面で理解はさせていただいています。ただし、多面でいいますと、既に設置校の、例えば特別教室、音楽室につけたとすると、逆にまた公平性、整合性の担保を失う。自分たちはするならば同じところを一緒に今後していきたい。ただ、議員ご指摘のとおり、図書室のエアコンにつきましては、このような不整合な部分をそのままにしていたというのは私たちの責任である、責務であると、そのように考えています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。あまり賢くないんで、一面ではということ、わかっただけでもわかれへんところもあるということなんですよね。ほとんどわかれへんということなんです、そうしたら。

僕の言いたいことは市長はわかってくれと思うんやけど、1年か2年後、そない最終的に全員の教室に、もう平成27年ぐらいのデータで、ほぼ49.何%、もう小・中学校、義務教育の学校にみんな入っていると思うので、今、平成29年のもう夏終わりなので、多分、見てないですけど推測で、60%、70%ついてきとるやろなど。橋本市の得意なスタンスで

しょう。よそがやっとなさかい、そろそろうちもしょうかいなど。

それはやっぱり財政事情とは関係ないけども、よそがやっとなのをいうちがやらなあかんというのは、借金してでもせなあかんと思うんやけど、問題はランニングコストとかそこらを考えとかんと、少子化になって子どもが教室の中に数が半分になっても、冷やす馬力というのは要るんですわ。水道料金とかそんなとはまた別で。そういうのはやっぱりある程度そういうのを考えていかんと。

僕も学生るとき、よう学校をさぼったりして、ちょっとしんどなったら保健室へ行ったんですわ。涼しいし、冬やったら暖かいし、ほんで保健の先生って優しいし、行ったんです。ほんなら、やっぱり図書室に行って、ちょっとでも本を読もうかというきっかけであってほしいんやけども、涼しいから行くわでは具合悪いんやけども、やっぱり本を読んで、すばらしい環境のもと学習させてほしいという、僕は子どもいてないですけど、親的な世代でいうたら同じことを思うかもしれませんし、うちがあったのは、もともとエアコンがあった学校というのはそういう思いやりのかたまりが保護者やPTAにあったということです。よそがないとは言ってませんよ。よそはよそで違う措置でお金を使っていると思います。

だから、やっぱりPTAとかいろんなご意思、寄附というのは学校のどこかに反映されとるはずなんで、そこだけエアコンになったわけと違うんです。ほかの学校もいろんな措置の優先順位が違っただけで、図書室にエアコンがついたのは教育長の考えとはまた違うところであって、運動場のフェンスをどこかへやっただとかポールを立てたとか、何か絶対どこかにやっとなと思うんです。どっちかというたら、この三つの小学校というのは比較

的よそより小さい学校やから、図書室のエアコンというふうになったのではないかなと推測されるんです。

ということは、この小学校以外のところは、生徒がたくさんいらっしゃる場所というのは、これ以上の寄附やPTAの会費というのがあると思うんです。だから、そういう観点での平等というのはどこをもって平等にするのかというのは人それぞれ感覚も違うと思うんですけど、今回のこの予算の使い方の平等性というのは、僕が提案するほうが世間一般の平等に近いと思うんですけど、もう一回だけ、一面ではなくて二、三面がわかるように今説明したんですけど、お答えいただけますでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）二、三面ということでございますけども、私の平等、公平というのは、全ての学校の図書室にエアコンをつける、まずそこから出発するということだと思っています。

次に、実は平成27年度、中学校の普通教室にエアコンをという話がありました。実際、校長にも聞かせていただきました。そのときに、やはり音楽室にもつけないとということでも話もありました。普通教室だけにつけると、音楽の授業が成り立たなくなるというふうな校長先生の不安もありました。

私たちとしてはできる限り同じ層で、同じ段階でそういう形に取り組みを進めていきたいと思っています。だから、議員おただしの部分とは、考え方、平等観、また、公平観が違うかも知れませんが、私としては同じ段階で同じ形で各小・中学校にエアコン設置を進めていく、そんな決意で今おります。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）わかりました。教育長の思いはわかりました。もうそのようにした

ってください。

僕は思うんですけど、もう一回ちょっと戻るんですけど、やっぱりよそとの広さの整合性、過去との整合性だけはどうしても合点がいけへんところがあるんです。今回3馬力を全部つけたんや、きけへんともあるしきいとるとともあるし、めっちゃきいとるとともある、その3段階ばらばら。電気代も多分ばらばら、払う分もこれからばらばらの、これから何十年、誰が払うんかは別として。

そういうふうな形のスタートの切り口をつくったということをもうちょっと認識していただきたいのと、例えば、恋野が3馬力ぐらいの空間でいけるのを4馬力つけると思いやりのスペース、この地域の。この4馬力をつけるとんやったら、平米に応じていけよという質問はもうさっきしたので構へんのやけど、ここの平等性で、まずはエアコンをそろえることやというのであれば、何で4馬力、5馬力を一律につけたれへんなんかなと。この平米の間をとったらだいたい5.5馬力ぐらいの計算になると思うんです。全箇所5.5馬力ぐらいつけとくのであったら、ある程度僕も、もうええんとちゃうのと、今回もう質問せんでいいやと思うとったんですけども、やっぱり保護者であったり先生であったり子どもであったり、全然きけへんわと言う人はやっぱり存在しとるんです。

やっぱり学校の先生なり教育長に言いにくいさかいに、多分、耳に来てないだけと思うんです。聞きに行つて、きいてないわというのは、例えば弁償とか、民と民の間で発生するんやったら、おい、全然効いてないぞ、前のほうがよかったぞということはあるかもしれせんけども、今回の話に限っては、どう考えてもこの理論というのが、僕がどの平等性の観点から見ても納得でけへん。

今回の一般質問はあと10分ちょっとなんで、

三つ目もあるので終わるんですけども、財政難なのであれば、やっぱりここら辺は安物買いの何とかになる前に、キュービクルからやっとなあかん。今後、市長が各教室にエアコン行くかもわかれへんということの整合性、ここら辺ができてないという状態でピンで引っ張ってたら、アンテナ1本立ててテレビの数でイコールにしていっとるだけでしょう。どこの家もアンテナ1本で分配して各部屋に電波が行くでしょう。それと同じでアンテナ何本立てるんですかと。そういうことになるでしょう。室外機は何個置くんですかと。

そこら辺が、いつも言うて悪いんですけど、話し合いをしたのかとか、センスがないという話になると僕は思うんです。ほんまにセンスがないと思うんです。ちょっと話をしたら、誰かがわかるでしょう。これ冷えるのか。部長らじゃなくても、議員でも絶対誰でもわかると思いますわ。何馬力に対して何馬力という、そういう話はもう構へんのやけど、質疑をしたのかとか話し合いをしたのか、この限られた金をできるだけ子どもに使うたらんやという長の思いを、2割増し、3割増しにして返したろうという部長、課長というのはおれへんのかなと思うんです。これはこれでいいんですと言われたら、教育行政のトップお二人がそない言うたら文句言えんじゃないですか、はっきり言うて。僕はそういう少数派意見を代弁して、今ここでわざと一般質問をしとんです。

ほんまやったら、もういいやと思ったんです。もうそれで納得しとんやったら、あと二、三年したらもう出るし、高校へ行ったらエアコンあるしええよという人もひょっとしたらおられるかもしれないですけど、今後、新しい命が生まれてきて、入ってきて、こども園やったらクーラーがきいとるんですよね、きっと、新しい建物ですから。ほんならもう小

学校に上がった途端に熱中症になる、校長先生のお話を聞いとるときにちょっと貧血になると。

だんだん子どもの免疫が弱ってきとるように、昔の時代とは違いますけど、そこら辺をもうちょっと点と点を線で結ぶ、観光やないですけど、教育も点と点が線で結ばらんと、面というのにならないんじゃないかなと思うので、もう答弁は結構ですので、今後、ついてない特別教室、並びに市長の施策で右肩上がりに行く財政事情は、きっと財政課長がつくっていただけたらと思うので、そのときになったときにはちゃんとやっぱりやっていただくということをお約束していただけますか。ちょっと一言ください。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）全力を尽くしてやっていきたいと、このように思っています。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）教育長のこと、好きなんですよ。ほんまに子どもらのことを思うてくれるのがわかるから、もったいないと思って、同じ工事代でも、ほんまに、さっきも言うたんですけど、3馬力も10馬力も工事代は一緒なんで、同じやるんやったら余計めに愛情やっても損ないじゃないですか、財政可能な範囲内であれば。せっかく2,000万円というお金、あと1,000万円ぐらい余っとるんかな。

今回、財政課長に振りますと言うてないのもう言わんときますけど、今後こういうことがないように、限られた財源をもうフルに、補助金とかと抱き合わすなり、持っとる財源をフルに、市長が目立つように使うたってください。よろしくお願いします。

二つ目を終わります。

○議長（岡 弘悟君）次に、質問項目3、西部小学校体育館管理体制に対する答弁を求めます。

教育部長。

〔教育部長（曾和信介君）登壇〕

○教育部長（曾和信介君）西部小学校体育館管理体制について、お答えします。

7月22日金曜日の午後9時頃、柔道クラブが体育館使用中に、屋上付近から煙が発生しました。その後すぐ柔道クラブ指導者による避難誘導を行い、橋本消防、施設管理担当者へ連絡するとともに、セコム煙探知作動による学校管理者への連絡があった時点で、すぐさま現場に関係者が集いましたが、夜間のため十分な状況確認ができないため、延焼等がないことを確認して解散しました。

翌朝、橋本消防、電気関係事業者、施設管理担当により現場検証を行い、原因調査を行ったところ、体育館天井に設置しているハロゲンランプ安定器が経年劣化に伴いショートし、煙及び熱を発生したことが判明いたしました。

原因となったハロゲンランプ安定器については交換修理を完了しています。また、同体育館の水銀灯1灯について不安定動作していることも確認していますので、現在、交換修理の準備を進めているところです。

今後、再発防止に向けて、古いものから順次点検、取り替えができるように努めてまいります。

なお、原因究明、ハロゲンランプ安定器交換修理完了までは約3週間を要し、夜間利用者には多大なご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。またまた教育部長と少しお話ししたいと思えます。

ちょっと僕が誤解があったみたいなので、

この場を借りてお詫びするんですけど、ちょっと前に大雨、教育部長になられる前やっと思ったんですけども、西部小学校のといが詰まっていたということで、僕はそこの整合性があると思ってこの一般質問をしたので、ちょっと今回の答弁を聞いていたら、その整合性はないように、技術的、数字的根拠を持って違うというふうな文章と受け取れるので、ちょっと僕が誤解して一般質問をしたなということをお詫びするんですけども、やっぱり大雨やって、といが詰まって、体育館の中、僕もその場にいたので、動画もとって、水浸し、2階のロビーも水浸し、面も水浸し、当然、防音シートもありゃあ断熱材、ほんで配線器具等々あるので、水と電気の相性であつたりとか、ほこりとかそういう、分電盤も濡れていたように思うし、そういう観点から、ちゃんと安全であるということを確認した上で次の体育の授業に臨んでくださいねということ、ここの校長先生にもせんぞ言いましたし、教育委員会にもせんぞ言うたにもかかわらず、といの詰まりだけ掃除して、ほんでもう使っていると。消毒したのかどうかちょっとわかりませんが、やっぱり木とか中の断熱は濡れたらあまりよろしくないものやと思うので、そこら辺をちゃんとして、安全であるという報告を受けてなかったのが来たので、僕ちょっと今回の質問をこういう形で質問させていただいたんです。

だから、そのときは多分、管理体制というのはちゃんとできてなかったと思うんですけど、今回のこの事故というか老朽化による煙というふうにとれるので、この答弁のとおりでしたら、今後、維持管理というのは何も言うことないので、今後もよろしくお願ひしますという一般質問で終わりたいんですけども、そこの1個だけ気になるのが、ハロゲンランプ、電気の球というのは、体育館に何十個も

あって、1個や2個切れたからといってかえるというのはちょっと費用の問題とか、1個かえるのに、五つぐらいかえたら、専用の脚立、経費もかかるしというので、やっぱり同じするんやったら大は小を兼ねるでいってほしいと思うので、そういうふうにかえていってほしいので、わざわざ1個や2個切れてかえてくださいとかそういうことは申し上げません。

ただ、前の大雨のつながりの、まだ分電盤とかそういう、水が1回つかってあるところの安全であるという、今回との整合性をちゃんと確認していただきたい。今回やったらハロゲンランプとかそらの煙が出た周辺しか見てないので、ちょっと引き込みの線であったりとか、表と裏と、引き込みのところと分電盤とあると思うので、そこら辺をきっちりチェックしていただいて、また今度でいいので、大丈夫であるというふうに言っていただきたいと思うんですけど、そこらはちゃんとチェックしていただけますでしょうか。よろしくをお願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育部長。

○教育部長（曾和信介君）おただしの件につきまして、配電盤等をチェックしてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）そうしたら、何も言うことはございませんので、これをきっかけに、煙が出て老朽化が出たということは各学校も、予算がどうこうと違うて、それこそ教育長が行って全部見ていってくれたら、全部が安全であるというもとで体育館、運動場もついでに、こういうときやからこそ、街灯とかあんなの、外に漏電しておるとか落雷で何かあったとか、知らないところで何かが起こってるので、やっぱり年に1回か2回は保守点検というのは、教育委員会は技術屋さんはおれへんと思うんやけども、そこが連携して、ちょっと一緒に行ってくれと、電気工事士を持っておる人が市役所におったら一番ええんやけど、そういう人ほど任期つき職員にでもなっていて、現場を全部見ていただいたら、免許をもって大丈夫であるということと言えると思うので、安心・安全な教育の現場を願います。よろしくをお願いします。

終わります。

○議長（岡 弘悟君）12番 堀内君の一般質問は終わりました。

この際、2時55分まで休憩いたします。

（午後2時39分 休憩）